

美しい森林づくり全国推進会議 長野県小諸市が担う 美しい森林づくりへの活動

「美しい森林づくり全国推進会議」に参加している小諸市では、アルピニストであり環境教育の先駆者である野口健氏と協力し、平成18年度から森林整備活動に取り組んでいます。そこで今回は小諸市長・芹澤勤氏と、「美しい森林づくり全国推進会議」の構成員である野口健氏におもな活動、今後の取組について伺いました。

環境教育を義務教育の一環として正式なプログラムに

長野県の小諸市では、浅間山麓の里山を人や動植物にとつてやさしく豊かな森林に再生するための「小諸市森林再生プロジェクト」を三年前よりスタートさせ、地域活動との協働で森林再生活動を積極的に進めています。「森林の再生は短期間で実現するものではなく、数十年、数百年後に向けて地域に根ざした持続的な森林整備活動が不可欠となります。その中で次世代を担う子供たちが森林に足を踏み入れ、森林の機能や重要性を学ぶことで



小諸市長・芹澤勤氏と野口健氏



「野口健森林教室」に参加した小学生

森林に対する理解や感性が高まり、これまでなじみのなかった森林を身近に感じることができれば、それこそ将来への地域との協働による森林整備活動に繋がると考えています」(小諸市長・芹澤勤氏)

平成一七年一〇月、小諸市では環境シンポジウム「浅間山麓から日本の里山を変える」を開催。アルピニストの野口健氏(NPO法人セブンスミツ持続社会機構)理事長を迎え、一般参加者が間伐体験をするイベントが行なわれました。このことがきっかけとなり、平成一八年からは小諸市内の小学生を



森林機能実験を説明する野口健氏



一生懸命に枝切りをする子供たち



野口健氏の指導のもと間伐

対象にした「野口健森林教室」が毎年、秋に実施されています。

「教育委員会や各小学校に理解を深めていただき、環境教育「野口健森林教室」を義務教育（課外授業）の一環として取り入れていきます。第一回目は小諸市にある小学校六校中四校の参加でしたが、昨年からは全小学校が参加しています」（芹澤勤氏）

「小諸市と関わり始めて四年目になります。地元行政が教育機関に働きかけ環境教育を正式なプログラムに入れたのは全国で小諸市が初めてのこと。毎年、小諸市を訪れると、地

元の人たちからこのプログラムについて声をかけられるんですよ。それだけ、このプログラムが市民の人たちにも浸透していて嬉しいですね」（野口健氏）

今年で第三回目を迎える「野口健森林教室」は、九月三日から一〇月二日までの三日間実施されました。子供たちは小諸市長、野口健氏、森林インストラクター、教師らと共に森林の中に入り、ネイチャーゲームや森林機能実験（地中昆虫観察）などを行いました。また、のこぎりを持って間伐作業なども体験し、森林整備の大変さを実感していました。

「このプログラムを体験した子供たちは森林、ごみ、水など、環境についてより考えるようになったという声を聞きます。野口健さんの「行動に移す」ということを見習って、森林再生活動を市民へと広げていこうと思っています」（芹澤勤氏）

「小諸市での森林再生プロジェクトを成功させることにより、一つのモデルケースとして全国の義務教育の中に環境教育を普及させていきたいです」（野口健氏）